

はじめてのみなさんへ

い りょう せい か つ こう じょう

①

医療と生活の向上を めざして

— 化学療法のはじまりと患者運動 —

- 第二次世界大戦が終わり、プロミンなどの薬の登場によってハンセン病は治るようになりました。患者さんたちは「治る」という大きな希望を持ち、隔離によって奪われた権利を取り戻そうと立ち上がりました。
- それぞれの療養所に、患者の自治をめざすグループがつかわれ、やがて全国組織となって、医療や生活の向上を求めました。また隔離を定めた法律を改め、差別的に使われてきた「らい」という病名を「ハンセン氏病」に変更することや、家族を社会の偏見から守ることなども要求しました。
- 療養所にはいろいろな出身地、症状の人が暮らしていたので、日本国籍のない人や失明した人たちのグループもでき、平等で暮らしやすい場所になるように働きかけました。
- 現在私たちが目にする療養所は、こうして少しずつ整えられてきた姿です。